

⑤その他

【 令和 2 年度第 1 回運営協議会の報告 】

## 令和2年度第1回運営協議会の議題に係る書面決議について

(議題:心身障害者医療費助成制度の改正に伴う国民健康保険特別会計への影響について)

- 令和2年5月開催の第1回運営協議会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、資料を送付し決議及び意見をいただく方法での開催とした。
- 議題については、委員全員より承認を得た。
- 議題に関する個別の意見等については、以下の通り。

- ・ 心身障害者医療費助成制度の改正について、今までは、医療費申請においては、家族、親族による手続きの事務負担が大きかったと思われる。  
この制度改正により、これらの負担も軽減が見込まれ、良いと思う。
- ・ デメリットの医療費増額については、障がい者が本来かかるべき医療機関をこれまでは受診しなかったためであり、健康維持のため、医療費増額はやむを得ないと思う。
- ・ この制度の改正で、国庫負担金減額調整分の財源は、令和2年度は国民健康保険事業調整基金の活用で対応とのことであるが、令和3年度以降はどうなるのか。保険税率改定に依存するのか。  
⇒ 今後の見通しでも述べたとおり、令和元年度末時点で国民健康保険事業調整基金の残高が11億円程度あることから、国庫負担金減額調整分も含め国保会計における不足額については、当面の間は基金の取り崩しによって補っていくこととします。
- ・ 対象者の年齢に関係なく、医療費の全額を助成し、窓口支払いがないと理解してよいのか。  
⇒ お見込みのとおり、制度改正後は補助対象者であれば年齢にかかわらず、自己負担額の全額を医療機関の窓口で支払わず、現物給付により助成することが可能となります。

【 令和元年度第 2 回運営協議会の質問事項 】

- ・ がん検診の未受診者への対応について

・がん検診①

部位別好発年齢に対する未受診者勧奨通知について

国保	無料対象者 A	未受診者(通知数) B (割合:B/A)	勧奨後受診者 C (割合:C/B)
65歳	288	220 (76.4%)	5 (2.3%)
子宮	80	72 (90.0%)	6 (8.3%)
乳	168	149 (88.7%)	18 (12.1%)
大腸	174	162 (93.1%)	16 (9.9%)

※無料対象者について

子宮:20、25、30、35歳の女性

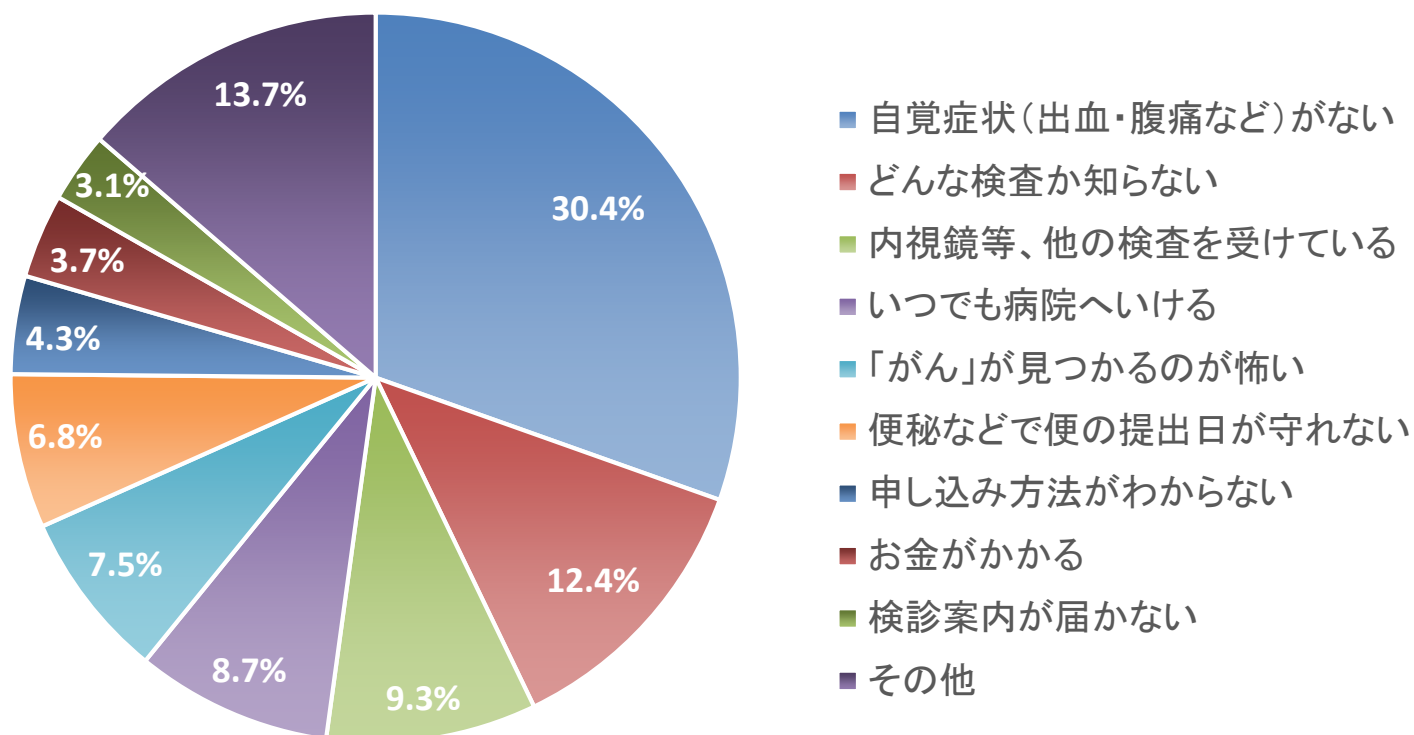
乳:40、45、50、55歳の女性

大腸:40、50歳の者

- ・令和元年度の未受診者勧奨通知は9月に1回発送した。
- ・未受診者勧奨後には発送した者のうち約7.5%の者が受診している。

## ・がん検診② 未受診の要因について

平成30年度 大腸がんクイズラリーによるアンケート結果より



・未受診の要因で多いものは「自覚症状がない」や「どんな検査か知らない」となっている。